

理事会

2022.3.29

理事長挨拶



全国的にもコロナ禍により休・廃業のホールが多くなり、今後組合としてどうすべきか、どうあるべきかを考える必要があります。

今後も厳しい経営環境は続きますが、この難局を一致団結して乗り越えましょう。

いずれも可決

◎ 協議事項

- 「2022YAMAGATAパチンコ・パチスロファン感謝デー」開催に伴う組合員ホールへのサンプル賞品1セットの支払い(案)及びスタンプラリーの実施(案)について
 - ・賞品1セットをサンプル賞品として組合が本年度内に幹事商社のそごう・西武に支払う提案
 - ・スタンプラリーは同じ店舗のスタンプでも可
同一店舗に午前・午後でも押印は可
 - ・スタンプラリーはルールを厳守し、参加するお客様に不公平感を生じさせないよう、ホール従業員の教育と指示の徹底

○ 事務局職員の選任及び昇格等について

庄内支部草刈事務長の1年間の選任及び星川係長の課長昇格等

◎ 報告

- 山形県ギャンブル等依存症対策推進計画の概要について
 - ・概要に関し、3月のパブリックコメント期間中は、第2章「ギャンブル等依存症問題に関する」現状と課題の中で、関連する調査データの1に「山形県内の遊技場店舗数及びパチンコ・パチスロ台数」を掲載されていましたが、井上理事長が山形県へ意見等を申し入れた結果、県ではパチンコの部分を外し

公営競技の状況

インターネット投票の割合が増加

に変更しました。

本計画策定に当たり、関係機関の山形県にご理解を得たことに感謝します。

組合員の皆様には、県の対応を真摯に受け止め、更なる依存対策を推進してください。

○ 遊技機購入時における諸費用の負担軽減に関する調整依頼について

東北地区遊連では、現況の遊技機の大型化、重量化等のコスト増を踏まえ、遊技機購入時の運送費負担は長年業界の慣習によりホールが着払いの全額負担となっている。この運送費の負担を軽減し、併せてコスト削減の議論を、21世紀会をはじめ、各種会議で議論してほしいとの要望書を提出しました。

○ ダイナム山形店の表彰について

ダイナム山形店では、コンピュータのデータ解析や防犯カメラの録画映像から、1円の玉を4円の玉のようにみせかけて計数機を通過させ、会員カードに1万円を超える相当の利益を得た詐欺犯人を特定しました。

後日、再来店した犯人が同じ犯行に及び警察官から検挙されました。

迅速的確な捜査協力で表彰状受賞

受賞の小原店長



○ 2022.3.16福島県沖地震に伴う被災県組合への災害見舞金の拠出について

震源地に近い福島県・宮城県のホールでは、天井の落下、島の倒壊等、大規模損壊の被害を受けたことに伴い、東北地区遊連として災害見舞金を交付するに各県ごとに1万円、被災県2県分2万円とし、不足分を東北地区遊連から支出し、それぞれ10万円の見舞金を交付します。

○ 災害協定締結式の実施について

昨年12月24日に災害協定締結式を実施予定でしたが、諸事情により先月の3月24日に山形県庁にて、山形県、山形県警察、山形県遊技業協同組合の3者において災害協定の締結式を行いました。

災害協定締結式前の懇談



災害協定締結の署名

山形県、山形県警察、山形県遊技業協同組合の協定書は、全国初の「急を要する場合は、市町村から直接パチンコ店に支援協力の要請を可能」といたしました。リーディングケースとも言えます。



災害協定締結式後の記念撮影



佐藤正顕警察本部長 吉村美栄子知事 井上静夫理事長

本締結までご協力くださった全日遊連、大分・福島県遊協の皆様に深謝いたします。

災害協定締結後初の大規模災害対応訓練

○ 概要

4月11日早朝、締結後初めて3者による大規模災害対応訓練を実施しました。参加者は、県・県警察・組合・ベガスベガス寒河江店、合計約40名です。

○ 訓練の内容

4月11日午前6時30分ころ、山形県寒河江警察署管内で震度6弱の地震が発生し、停電のため大規模の渋滞が予想されることから、主要交差点のベガスベガス寒河江店駐車場を現地指揮所、避難者(車)の避難先、また、同店舗内を避難者の休憩場所の想定で行われました。これに伴い、災害発生地の寒河江警察署から緊急連絡先の組合員ホール店長と組合の専務理事が連絡を受け、専務理事から県防災危機管理課と職員へ伝達をしました。

ベガスベガス寒河江店では、屋外のデジタルサイネージに「災害訓練実施中」を書き込み、また、災害支援協力店のステッカーを入り口に掲示し、地域住民をはじめ県民への周知等の対応をしました。

○ 検証及び訓練状況の写真

訓練を通じて地域住民、ひいては県民の安全と安心を守るために、訓練の都度検証し、実効性を高めてまいりたいと思います。訓練状況の写真は次頁に掲載いたします。

大規模災害対応訓練

4月11日早朝 ベガスペガス寒河江店・組合非常召集



渡部店長の機転
デジタルサイネージ注目
書き込み避難者へ周知
大規模災害対応訓練
実施中

ベガスペガス寒河江店

組合と組合員の災害協定締結同意に基づく

災害支援協力店

ステッカーは避難者やお客様が見やすい店舗出入り口に掲示



まだ薄暗い中、パトカー、輸送車が続々と集結



駆けつけた警察官が素早く現地指揮所のテント張りに着手

現地指揮所の完成



報道関係者が見守る中、図面による被災状況等の確認作業と指揮



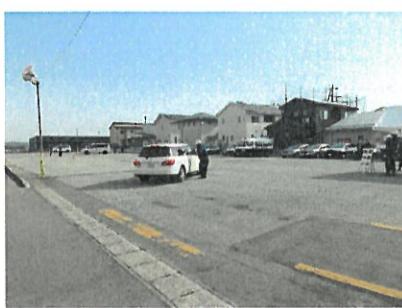
指揮状況

被災状況の把握
綿密な打合せ・
的確な指揮

信発前ベ
号動信ガ
機発号ス
復電機ベ
旧機滅ガ
・を灯ス
操作によ
河作用より
訓練しり江
練した



避難者(車両)を次々と避難駐車場へ誘導

避難者ふんする警
察官が店舗内に入り
休憩をとる想定訓練警察官の緊張感が
伝わる場面

寒河江警察署長への訓練終了報告



大規模災害対応訓練を計画、実行していただいた山形県寒河江警察署長はじめ、署員の皆様、山形県警察本部警備第二課、山形県防災危機管理課の皆様、ご協力本当にありがとうございました。

大活躍の渡部俊人店長

取材を受ける
渡部店長

渡部店長は「災害時の行動を学ぶことができました。地域住民の安心に貢献したいです」とコメントしました。



専務理事の部屋

関係者の皆様に御礼

ベガスペガス寒河江店・ベガスペガス山形支社の関係者の方、早朝よりご協力ありがとうございました。

組合では、今回の訓練を教訓に引き続き組合員ホールと一体となって、県民の生命、身体、財産の保護と公共の安全と秩序の維持に努めてまいります。また、実効性を高めるため、PDCAサイクルにも努めます。